

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果及び改善方策について

佐伯市教育委員会

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果及び改善方策について(小6・中3)

市内の小学校6年生と中学校3年生を対象に、令和3年5月27日(木)に「全国学力・学習状況調査」を実施しました。以下は、その集計結果です。

【目的】

- ①児童生徒の学力や学習・生活状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題の検証・改善を図る。
- ②学校における児童生徒への教育指導の充実、学習状況の改善等に役立てる。
- ③教育に関する継続的な検証サイクルを確立する。

【調査内容】

①教科に関する内容

小6…国語、算数の2教科

中3…国語、数学の2教科

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等を調査
- ・知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等を調査

②生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

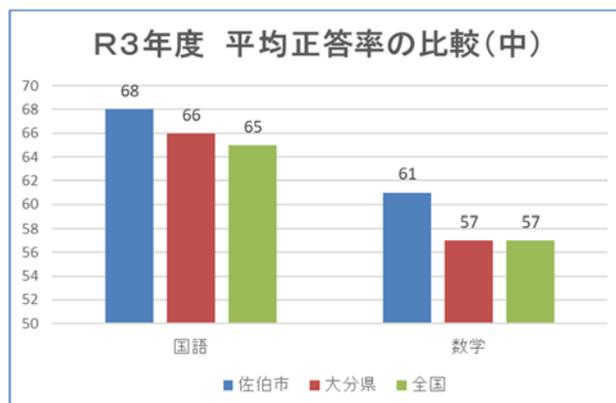
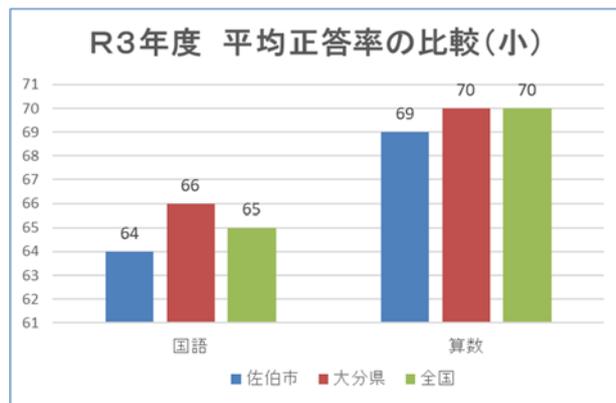
児童生徒質問紙・・・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

学校質問紙・・・指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況に関する調査

■ は全国平均以上

【平均正答率(全問題数のうち、どのくらいの問題を正答したかの割合)[%]の全体比較】

	小学校6年生			中学校3年生		
	国語	算数	合計	国語	数学	合計
佐伯市	64	69	133	68	61	129
大分県	66	70	136	66	57	123
全国	65	70	135	65	57	122



<結果概況>

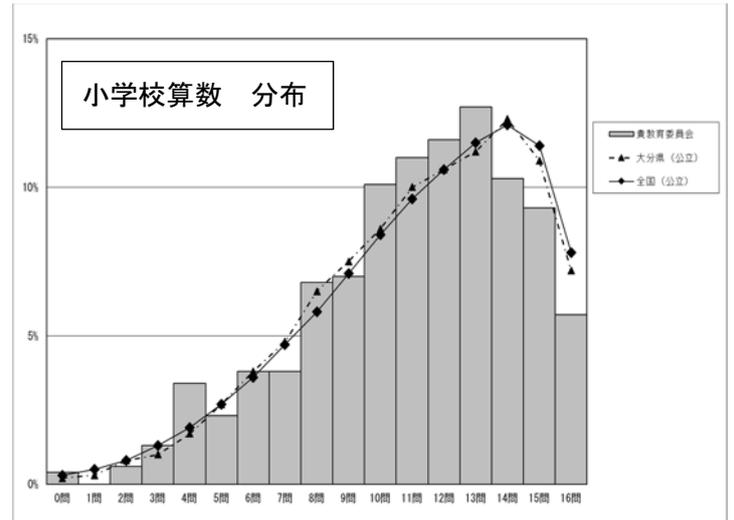
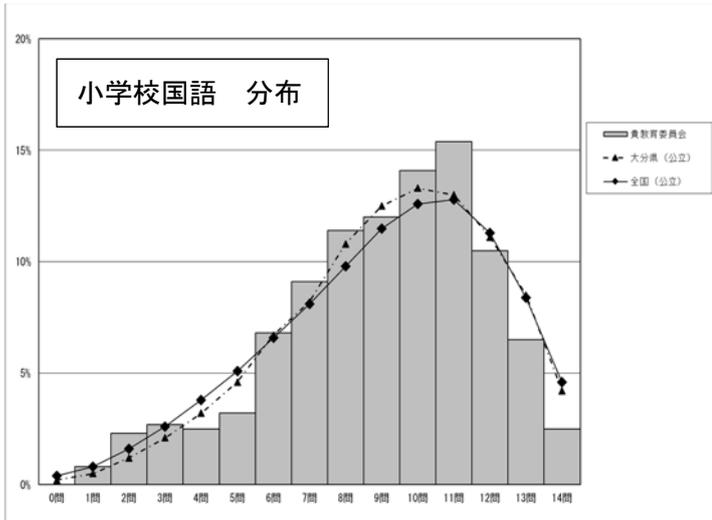
- 小学校は、国語・算数ともに全国平均を若干下回った。
- 中学校は、国語・数学ともに全国平均を大きく上回った。
- 小学校は、前は、国語・算数ともに県平均を大きく下回ったが、今年度、県平均との差が縮まってきている。
- 中学校は、前は、国語・数学ともに県平均を下回ったが、今年度は国語・数学ともに県平均を上回った。

<課題と対策>

- 小学校は、国語において、詳しく書き直す問題、算数の理由を記述する問題の無解答率が高い。調査問題から今子ども達に求められている力をしっかり捉え、調査問題を有効活用したり、児童のつまづきはどこから生じているのかを分析したりし、定着習熟を図る必要がある。
- 中学校は、国語・数学ともに説明する問題を中心とした記述の問題に無解答が目立つ。さらに生徒に力を付ける意味でも、生徒の解答の傾向等を分析し、改善につなぐ必要がある。

調査結果概況<小学校>

	国 語		算 数	
	平均正答数	平均正答率 (%)	平均正答数	平均正答率 (%)
佐伯市教育委員会	9.0/14	64	11.0/16	69
大分県 (公立)	9.2/14	66	11.2/16	70
全国 (公立)	9.1/14	65	11.2/16	70



小6国語 平均正答率(%)

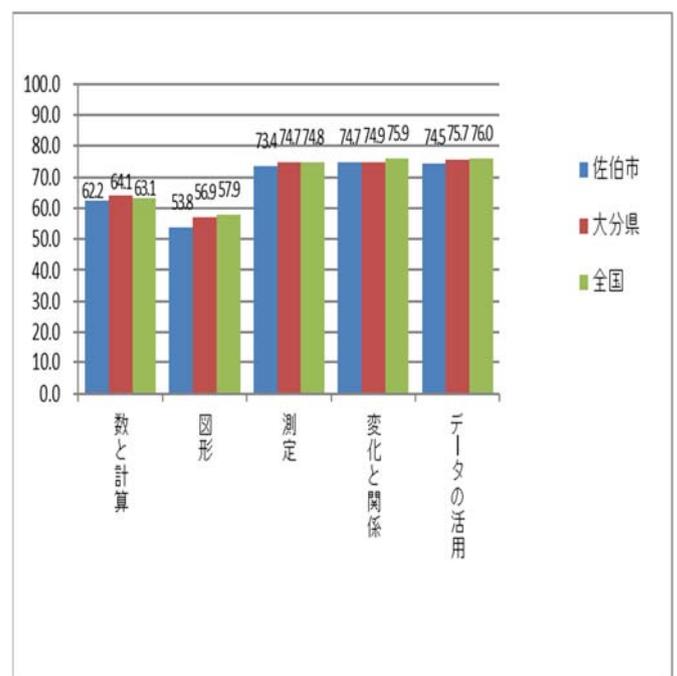
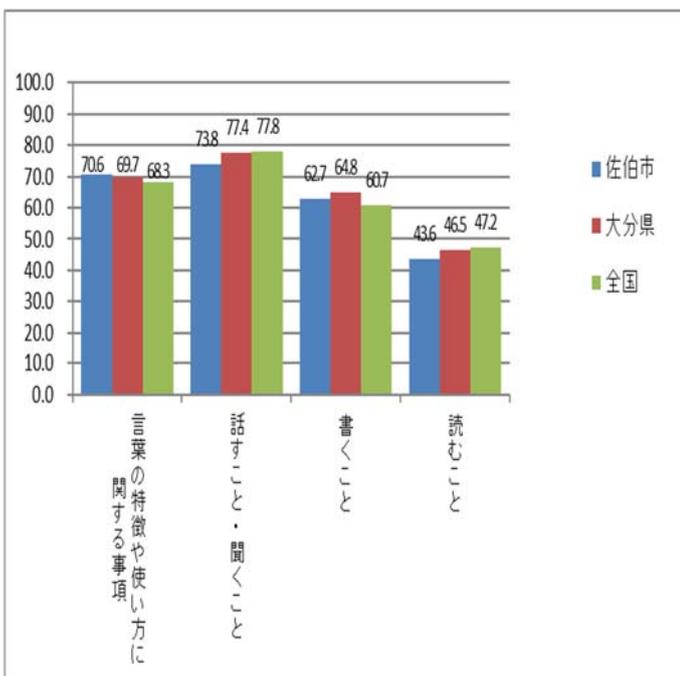
学習指導要領の内容	佐伯市	大分県	全国
言葉の特徴や使いに関する事項	70.6	69.7	68.3
話すこと・聞くこと	73.8	77.4	77.8
書くこと	62.7	64.8	60.7
読むこと	43.6	46.5	47.2

70.6 は全国平均以上

小6算数 平均正答率(%)

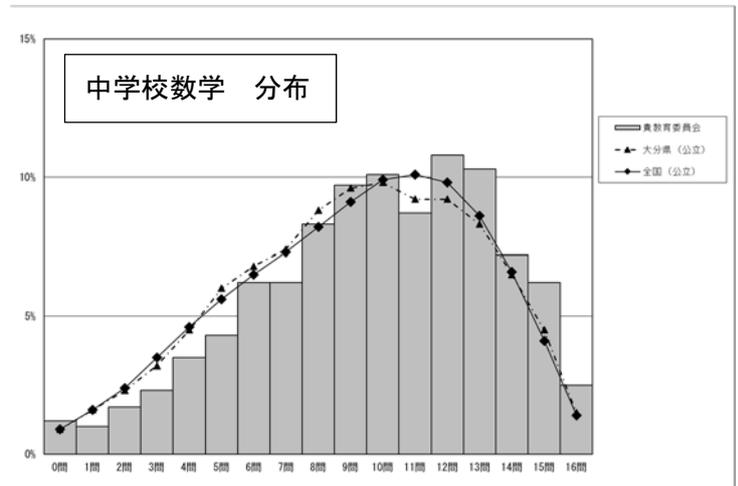
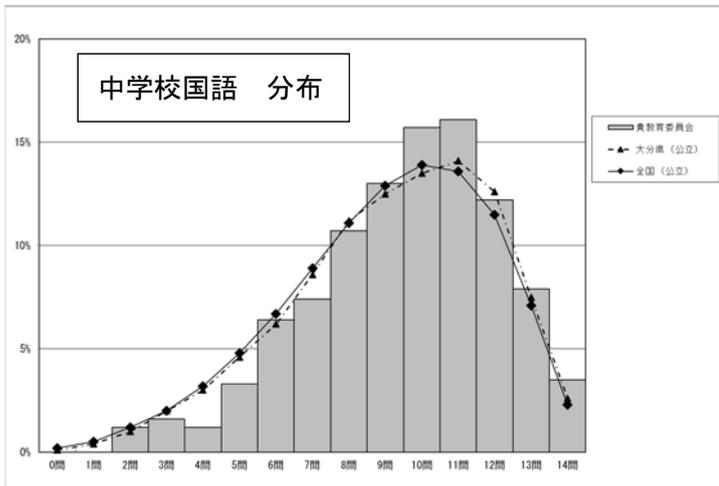
学習指導要領の領域	佐伯市	大分県	全国
数と計算	62.2	64.1	63.1
図形	53.8	56.9	57.9
測定	73.4	74.7	74.8
変化と関係	74.7	74.9	75.9
データの活用	74.5	75.7	76.0

74.5 は全国平均以上



調査結果概況<中学校>

	国 語		算 数	
	平均正答数	平均正答率 (%)	平均正答数	平均正答率 (%)
佐伯市教育委員会	9.5/14	68	9.7/16	61
大分県 (公立)	9.2/14	66	9.1/16	57
全国 (公立)	9.0/14	65	9.1/16	57

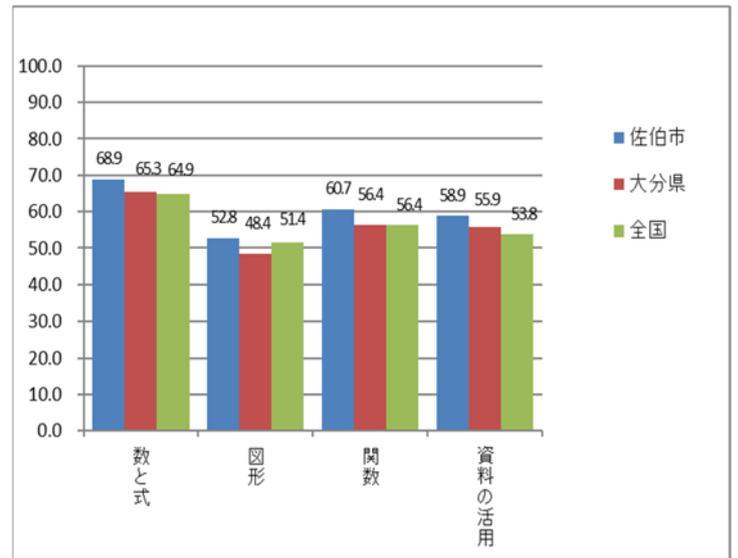
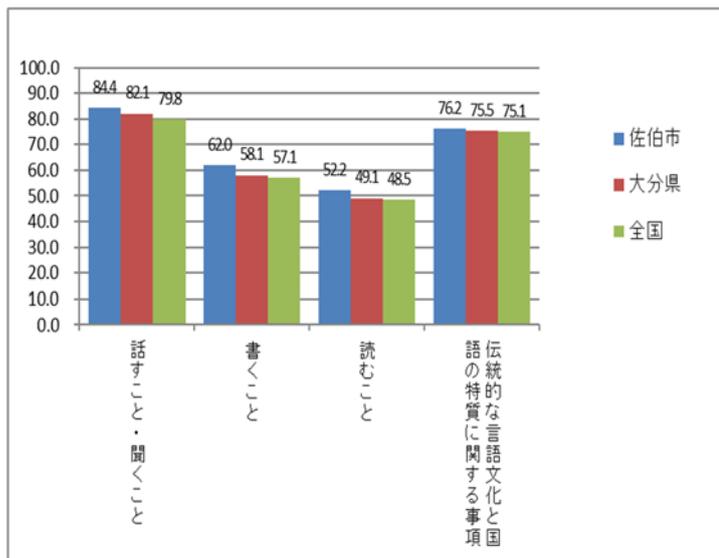


学習指導要領の領域等	平均正答率(%)		
	佐伯市	大分県	全国
話すこと・聞くこと	84.4	82.1	79.8
書くこと	62.0	58.1	57.1
読むこと	52.2	49.1	48.5
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	76.2	75.5	75.1

領域別正答率	平均正答率(%)		
	佐伯市	大分県	全国
数と式	68.9	65.3	64.9
図形	52.8	48.4	51.4
関数	60.7	56.4	56.4
資料の活用	58.9	55.9	53.8

 は全国平均以上

 は全国平均以上



小学校国語

佐伯市の平均正答率	64%
大分県の平均正答率	66%
全国の平均正答率	65%

◇正答率が高い設問 ◆正答率が低い等課題が見られる設問

○設問数 14問

- ◇平均正答率80%以上の問題・・・1問（大分県4問、全国2問）
- ◇平均正答率が全国平均以上の問題・・・4問（大分県7問）
- ◆平均正答率60%未満の問題・・・3問（大分県4問、全国5問）
- ◆平均正答率が全国を下回っている問題・・・10問（大分県7問）

①学習指導要領における領域・問題別に見た分析

<無解答率が高かった問題>

- ◆3二 目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。
(佐伯市6.8%・大分県6.0%)
- ◆3三(1)ア 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。(ころがっている)
(佐伯市6.5%・大分県6.0%)
- ◆3三(1)ウ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。(つみ重ね)
(佐伯市6.3%・大分県12.0%)

<課題があるとみられる問題>

【読むこと】

- ◆2三 目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける。
(佐伯市29.7%・大分県比-4.1%)
→文章の中から考えていることを捉えたり、文章と図表を結び付けて必要な情報を見付けたりすることを通して、相手に伝わるように書くことに課題がある。
- ◆2四 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する。(佐伯市25.3%・大分県比-3.6%)
→求められている事柄が書かれている部分を中心に読み、必要な情報を見付けて要約することに課題がある。また、どのような内容を、どれくらいの分量で書けばよいのかを考えながらまとめることが必要になる。

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

- ◆3三(2)オ
文の中における修飾と被修飾の関係を捉える。(佐伯市39.0%・大分県比-6.0%)
→修飾と被修飾との関係を捉えることができず、文の構成を理解することに課題がある。文の中でどの語句に係るのが捉えられていない。

②具体的な改善方策

- 目的に応じて中心となる語や文を見付けて要約したり、文章と図を結び付けるなどして必要な情報を見付けたりする学習を位置付ける。
 - ・内容の中心となる事柄や書き手の考えの中心となる事柄が文章全体を通してどのように構成されているのかを正確に捉えることができるようにする。
 - ・目的に応じて文章と図表などの情報を関係付けて検討するなど、複数の情報を結び付けて考えを形成する力を付けるようにする。

○読み手に向けて書く文章であることを意識し、文章の構成や書き表し方の指導をする。

- ・日常的に、読み手に向けて書く文章であることを意識し、漢字を正しく書くことや主語と述語の関係をとらえることと併せて修飾語と被修飾語の関係に気を付けて書くことも指導に取り入れる。その中で、読み手が考えを理解しやすいように、文章全体の構成や展開を考えたり、書き表し方を工夫したりすることが大切である。

小学校算数

佐伯市の平均正答率	69%
大分県の平均正答率	70%
全国の平均正答率	70%

◇正答率が高い設問 ◆正答率が低い等課題が見られる設問

○設問数 16問

- ◇平均正答率80%以上の問題・・・6問（大分県6問、全国6問）
- ◇平均正答率が全国平均以上の問題・・・5問（大分県9問）
- ◆平均正答率60%未満の問題・・・7問（大分6県問、全国6問）
- ◆平均正答率が全国を下回っている問題・・・11問（大分県7問）

①学習指導要領における領域・問題別に見た分析

<無解答率が高かった問題>

- ◆2(3) 二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く。
(佐伯市4.2%・大分県3.7%)
- ◆3(4) 帯グラフから、割合の違いが、一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く。
(佐伯市8.4%・大分県8.3%)
- ◆4(3) 30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書く。
(佐伯市8.2%・大分県7.7%)

<課題があるとみられる問題>

【図形】

- ◆2(1) 直角三角形の面積を求める式と答えを書く。(佐伯市49.8%・大分県比-3.9%)
→三角形の底辺や高さの関係を捉え、求積のためにどの部分の長さを測る必要があるかを判断することに課題がある。図形の面積を求める公式の理解を深め、活用できるようにする必要がある。
- ◆2(3) 二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く。
(佐伯市41.8%・大分県比-4.6%)
→図形を構成する要素などに着目して、求め方を筋道を立てて説明することに課題がある。必要な情報を見いだした上で、面積を求める公式を用いる力を付ける必要がある。

【データの活用】

- ◆3(4) 帯グラフから、割合の違いが、一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く。
(佐伯市48.3%・大分県比-2.5%)
→複数のデータについて、全体と部分、部分と部分の関係性を調べ、データの特徴や傾向を捉えることに課題がある。

②具体的な改善方策

- 図形を構成する要素などに着目して捉え、筋道を立てて説明する活動を取り入れる。
 - ・図形を構成する要素などに着目して、求積のためにどの部分の長さを測る必要があるかを考えることで、基本図形の面積を求める公式の理解を深め活用できるようにする。そのため、観察や構成などの活動を通して図形を構成する要素を具体的に捉えるとともに、図形の計量について筋道を立てて説明する活動を取り入れたい。
- 量の性質や図形を構成する要素についての理解と図形の面積の求め方についての理解とをつなぐ。
 - ・図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に考察したり、図形を構成する要素などに着目して捉えたりして、求め方を筋道を立てて考えたりすることができるよう配慮する。
- 身の回りの事象について、データに基づいた考察を促す活動を仕組む。
 - ・①どのようなデータを、どのように集めるかについて計画を立てる→②データを集めて分類整理し、目的に応じて、観点を決めてグラフや表に表す→③データの特徴や傾向をつかみ、問題に対する結論をまとめるといった活動をする中で児童の考察を促していくことが大切である。

中学校国語

佐伯市の平均正答率	68%
大分県の平均正答率	66%
全国の平均正答率	65%

◇正答率が高い設問 ◆正答率が低い等課題が見られる設問

○設問数 14問

- ◇平均正答率80%以上の問題・・・5問（大分県4問、全国4問）
- ◇平均正答率が全国平均以上の問題・・・13問（大分県10問）
- ◆平均正答率60%未満の問題・・・4問（大分県6問、全国6問）
- ◆平均正答率が全国を下回っている問題・・・1問（大分県4問）

①学習指導要領における領域・問題別に見た分析

<無解答率が高かった問題>

- ◆2二 書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考える。（佐伯市7.0%・大分県8.3%）
- ◆3三 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する。（佐伯市7.2%・大分県7.6%）
- ◆3四 文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ。
（佐伯市21.7%・大分県25.3%）
- ◆4四 伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く。（佐伯市9.3%・大分県10.8%）

<正答率が低かった問題>

【書くこと】

- ◆2一 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く。
（佐伯市30.2%・大分県比+3.8%）
→推敲したことについて、その効果（より詳しく説明する・より明確にする等）を捉えることに課題がある。

【読むこと】

- ◆3四 文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ。
（佐伯市27.5%・大分県比+5.9%）
→引用した表現から登場人物の心情や行動について考えたり、自分の考えをもったりすることに課題がある。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ◆4三 相手や場に応じて敬語を適切に使う。（佐伯市39.3%・大分県比-1.9%）
→相手や場に応じた言葉遣いで書くことや伝えたい事柄を明確に書くことに課題がある。

②具体的な改善方策

○読み手の立場に立って文章を整えるとともに、書いた文章を互いに読み合う活動を取り入れる。
・文章を推敲する際には、読みやすく分かりやすい文章にするために、書き手としてだけでなく、読み手の立場に立って文章を整える指導をする必要がある。例えば、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、文章を読み返す活動を促したい。また、書いた文章を互いに読み合い、自分の表現に役立てるとともに、自分の考えを広げたり深めたりすることができるよう指導することが大切である。

○幅広く文学作品に目を向け、新たなものの見方や考え方を捉えられるよう指導する。
・幅広く文学作品に目を向け、新たなものの見方や考え方を発見したり、様々な視点から物事について考えたりできよう指導する必要がある。また、他者の考えを参考にするなどして、文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもたせることも大切である。

○「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」についての指導を充実させる。
・敬語の指導については、小学校での学習を踏まえ、個別的・体験的な知識を整理して体系付けるとともに、人間関係の形成や維持における敬語のもつ働きを十分に理解するように指導することが大切である。具体的には、基本となる尊敬語、謙譲語、丁寧語について理解できるよう指導したい。

中学校数学

佐伯市の平均正答率	61%
大分県の平均正答率	57%
全国の平均正答率	57%

◇正答率が高い設問 ◆正答率が低い等課題が見られる設問

○設問数 16問

- ◇平均正答率 80%以上の問題・・・5問（大分県 5問、全国 4問）
- ◇平均正答率が全国平均以上の問題・・・15問（大分県 8問）
- ◆平均正答率 60%未満の問題・・・7問（大分県 8問、全国 7問）
- ◆平均正答率が全国を下回っている問題・・・1問（大分県 8問）

①学習指導要領における領域・問題別に見た分析

<無解答率が高かった問題>

- ◆6(2) 四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和はいつでも4の倍数になることの説明を完成する。
(佐伯市 11. 2%・大分県 15. 4%)
- ◆6(3) 四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和がどの位置にある2つの数の和の2倍であるかを説明する。
(佐伯市 22. 1%・大分県 29. 1%)
- ◆7(2) 与えられた表やグラフを用いて、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する。
(佐伯市 18. 4%・大分県 25. 4%)
- ◆8(3) 「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する。
(佐伯市 26. 1%・大分県 30. 2%)
- ◆9(3) $\angle ARG$ や $\angle ASG$ の大きさについていつでもいえることを書く。
(佐伯市 28. 4%・大分県 29. 6%)

<正答率が低かった問題>

【関数】

- ◆7(2) 与えられた表やグラフを用いて、2分をはかるために必要な砂時計の砂の重さを求める方法を説明する。(佐伯市 33. 8%・大分県比+6. 0%)
→事象における数量の関係を見だし考察する場面において、問題解決の方法について説明することに課題がある。

【資料の活用】

- ◆8(3) 「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する。
(佐伯市 17. 4%・大分県比+4. 6%)
→日常生活や社会の事象を考察する場面において、ある事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

【図形】

- ◆9(3) $\angle ARG$ や $\angle ASG$ の大きさについていつでもいえることを書く
(佐伯市 30. 9%・大分県比+3. 6%)
→平行線や角の性質を理解し、それに基づいて図形の性質を確かめ説明することに課題がある。

②具体的な改善方策

- 説明する内容や意図について明確に示しながら、生徒が数学的に説明する次のような活動を取り入れることが必要である。
 - ①「事柄・事実の説明」・・・見いだした事柄や事実を、「○○（前提）ならば、□□（結果）になる。」のような形で説明する。
 - ②「方法・手順の説明」・・・用いるもの（表、式、グラフ等）を明確にしたうえで、方法や手順を的確に説明する。
 - ③「理由の説明」・・・ある事柄が成り立つ理由を、「○○（根拠）であるから、△△（成り立つ事柄）である。」のような形で説明する。
- 事象を理想化・単純化してその特徴を的確に捉え、事象を数学的に解釈する場合においては、上記②を基本に問題解決の方法を考え、それを数学的に説明させること大切である。
- 日常生活や社会の事象を考察する場面においては、表やグラフなどからデータの傾向を適切に読み取り、それらを基に判断の理由を説明させたい。その際、上記③を基本にグラフや代表値を用いてデータの傾向を捉え説明させることが大切である。
- 図形の性質を考察する場面では、上記③を基本に予想した事柄が成り立つ理由を筋道を立てて考えることや条件を保ったまま図形を動かしても成り立つ事柄を見いださせることが大切である。

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果（児童・生徒質問紙）

1 調査結果の概要

児童生徒質問紙調査

数値は「当てはまる」「よく行った」等、最も肯定的な解答の数値

◎は全国値より10%以上上回る ○は全国値以上

▼は全国値未満

着色は平成31年度より改善が見られるもの

【小学校】授業に関すること

NO	項目	R3佐伯	R3全国	H31佐伯
28	学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	▼ 63.8	66.1	
32	自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか	▼ 18.1	23.6	20.8
33	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	▼ 25.7	30.3	30.3
37	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	▼ 27.8	33.0	27.1
39	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	▼ 24.6	31.7	25.6
42	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	▼ 40.2	45.6	38.0
43	国語の勉強は好きですか	○ 27.2	22.7	27.7
45	国語の授業の内容はよくわかりますか	○ 41.5	39.5	40.2
49	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫して書いたりしていますか	▼ 25.1	26.3	
52	算数の勉強は好きですか	▼ 34.1	40.5	34.3
54	算数の授業の内容はよくわかりますか	▼ 47.2	51.6	45.4
58	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	▼ 52.4	54.0	47.8
59	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	○ 68.4	66.0	55.2

【小学校】家庭学習に関すること

NO	項目	R3佐伯	R3全国	H31佐伯
17	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	▼ 27.6	31.2	31.5
18	普段（月～金曜日）、1時間以上勉強していますか	○ 68.4	62.5	70.7
21	普段（月～金曜日）、1日当たり30分以上読書をしていますか	▼ 31.8	37.4	36.1
65	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか	▼ 25.7	29.8	

【小学校】学びに向かう力に関すること

NO	項目	R3佐伯	R3全国	H31佐伯
6	自分には、よいところがあると思いますか	▼ 29.5	36.2	28.0
7	将来の夢や目標を持っていますか	▼ 58.9	60.2	57.7
11	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	▼ 81.9	84.1	80.8
12	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	▼ 70.5	75.4	69.6
13	学校に行くのは楽しいと思いますか	▼ 41.5	47.9	53.5
16	友達と協力するのは楽しいと思いますか	▼ 67.4	72.0	
23	新聞を読んでいますか	▼ 0.6	5.1	2.4
24	今住んでいる地域の行事に参加していますか	○ 29.3	26.7	37.5
25	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	▼ 15.4	17.8	17.9

【中学校】授業に関すること

NO	項目	R3佐伯	R3全国	H31佐伯
28	学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	○ 63.0	60.4	
32	自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか	▼ 18.0	21.0	17.0
33	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	▼ 29.3	33.5	26.2
37	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	○ 34.1	33.9	33.3
39	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	○ 32.2	28.2	30.0
42	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	○ 58.5	48.8	35.4
43	国語の勉強は好きですか	○ 31.8	23.5	27.7
45	国語の授業の内容はよくわかりますか	○ 39.0	31.5	32.0
49	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫して書いたりしていますか	○ 29.8	28.6	
52	数学の勉強は好きですか	○ 35.9	31.2	33.1
54	数学の授業の内容はよくわかりますか	○ 42.1	35.6	38.6
61	英語の勉強は好きですか	▼ 28.3	28.7	27.7
62	英語で話したり書いたりして、自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか	○ 32.9	30.5	

【中学校】家庭学習に関すること

17	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	▼ 14.3	19.4	17.0
18	普段(月～金曜日)、2時間以上勉強していますか	▼ 34.7	41.8	32.0
21	普段(月～金曜日)、1日当たり30分以上読書をしていますか	▼ 27.2	28.9	32.0
65	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか	▼ 9.9	11.3	

【中学校】学びに向かう力に関すること

NO	項目	R3佐伯	R3全国	H31佐伯
6	自分には、よいところがあると思いますか	▼ 33.5	34.5	27.2
7	将来の夢や目標を持っていますか	▼ 37.8	40.5	46.6
11	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	○ 86.6	81.4	81.6
12	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	○ 78.7	74.3	76.2
13	学校に行くのは楽しいと思いますか	○ 46.9	43.3	48.9
16	友達と協力するのは楽しいと思いますか	○ 71.1	65.8	
23	新聞を読んでいますか	▼ 1.0	3.4	3.2
24	今住んでいる地域の行事に参加していますか	○ 16.9	16.3	23.2
25	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	○ 13.8	12.6	17.2

2 児童・生徒質問紙の調査結果をふまえて

- ・「授業に関すること」「家庭学習に関すること」「学びに向かう力に関すること」の質問項目は、特に中学校において平成31年度より改善が図られた項目が多くなっており、自己肯定感(No.6)の項目は、小・中学校ともに前回よりも数値が高い。しかし、小学校は、全国値よりも割合が低い項目(▼)が多く見られる。児童の回答を真摯に受け止め、具体的な改善方策につなげていくことが求められる。
- ・家庭学習の計画性に係る達成度は、小・中学校ともに、前回より割合が低く、全国値よりも割合は低くなっている。1日当たり30分以上読書をする児童生徒の割合も小・中学校ともに低くなっている。引き続き児童生徒の実態を踏まえ、学習内容や計画の立て方等の手立てを講じていく必要がある。

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果（学校質問紙）

1 調査結果の概要

学校質問紙調査

数値は「当てはまる」「よく行った」等、最も肯定的な解答の数値

◎は全国値より10%以上上回る ○は全国値以上

▼は全国値未満

着色は平成31年度より改善が見られるもの

【小学校】授業に関すること

NO	項目	R3佐伯	R3全国	H31佐伯
7	児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思う	▼ 36.8	45.8	26.3
8	将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしたか	▼ 5.3	20.3	31.6
9	学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えたか	▼ 42.1	45.7	68.4
10	学習規律の維持を徹底したか	◎ 73.7	62.3	57.9
29	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思う	▼ 10.5	18.5	26.3
41	総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしたか	▼ 21.1	31.6	57.9
44	特別の教科 道徳において、児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしているか	▼ 21.1	40.8	42.1
45	児童の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かすことを心がけたか	◎ 52.6	36.9	
46	児童のよい点や改善点などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにしたか	○ 47.4	40.8	
49	国語の指導として、補充的な学習の指導を行ったか	○ 31.6	27.0	36.8
50	国語の指導として、発展的な学習の指導を行ったか	○ 15.8	7.8	21.1
55	算数の指導として、補充的な学習の指導を行ったか	○ 57.9	48.6	68.4
56	算数の指導として、発展的な学習の指導を行ったか	▼ 10.5	14.2	15.8
63	コンピュータなどのICT機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができていますか	○ 42.1	35.9	

【小学校】家庭学習に関すること

NO	項目	R3佐伯	R3全国	H31佐伯
85	家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った	○ 42.1	40.6	63.2
86	家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えた	▼ 36.8	46.3	68.4
87	家庭学習の取組として、児童が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かしたか	○ 36.8	29.1	

【小学校】教育課程に関すること

NO	項目	R3佐伯	R3全国	H31佐伯
18	学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、教育の内容を組織的に配列している	◎ 42.1	30.2	52.6
19	教育課程の編成、実施、評価、改善のPDCAサイクルを確立している	◎ 47.4	31.1	63.2
20	教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源を効果的に組み合わせている	◎ 63.2	37.6	73.7
21	言語活動について、国語科だけではなく、学校全体として取り組んでいる	◎ 52.6	41.2	63.2
77	近隣等の中学校と教育課程に関する共通の取組を行っている	○ 26.3	17.0	31.6
83	CSなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行ったか	◎ 57.9	31.2	57.9

【中学校】授業に関すること

NO	項目	R3佐伯	R3全国	H31佐伯
7	生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思う	▼ 66.7	69.1	58.3
8	将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしたか	▼ 33.3	49.6	58.3
9	学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えたか	◎ 58.3	43.5	91.7
10	学習規律の維持を徹底したか	◎ 83.3	75.8	75.0
29	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思う	◎ 33.3	18.4	33.3
41	総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしたか	▼ 25.0	33.0	50.0
44	道徳の時間において、児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしたか	▼ 33.3	49.2	33.3
45	生徒の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や生徒の学習改善に生かすことを心がけたか	◎ 66.7	34.9	
46	生徒のよい点や改善点などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにしたか	○ 41.7	35.8	

49	国語の指導として、補充的な学習の指導を行ったか	◎ 58.3	25.5	41.7
50	国語の指導として、発展的な学習の指導を行ったか	◎ 41.7	15.1	41.7
55	数学の指導として、補充的な学習の指導を行ったか	◎ 50.0	40.0	58.3
56	数学の指導として、発展的な学習の指導を行ったか	▼ 8.3	18.5	16.7
61	英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合う（対話的な）活動に取り組んだか	◎ 75.0	45.0	
63	コンピュータなどのICT機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができていますか	▼ 25.0	35.3	

【中学校】家庭学習に関すること

NO	項目	R3佐伯	R3全国	H31佐伯
85	家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った	◎ 50.0	34.0	58.3
86	家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えた	○ 41.7	37.0	75.0
87	家庭学習の取組として、生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や生徒の学習改善に生かしたか	○ 41.7	24.3	

【中学校】教育課程に関すること

NO	項目	R3佐伯	R3全国	H31佐伯
18	学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、教育の内容を組織的に配列している	▼ 25.0	26.9	66.7
19	教育課程の編成、実施、評価、改善のPDCAサイクルを確立している	○ 33.3	29.8	58.3
20	教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源を効果的に組み合わせている	◎ 50.0	26.1	66.7
21	言語活動について、国語科だけではなく、学校全体として取り組んでいる	◎ 66.7	38.9	58.3
77	近隣等の小学校と教育課程に関する共通の取組を行っている	▼ 16.7	23.5	41.7
83	CSなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行ったか	◎ 33.3	20.4	50.0

2 学校質問紙調査の結果をふまえて

- ・「授業に関すること」「家庭学習に関すること」「教育課程に関すること」の質問項目で全国値を上回っているものが多く、各学校の授業内容や家庭学習の充実のための取組、充実した教育課程の編成が進んでいることがわかる。しかし、「家庭学習」の項目は、児童生徒の意識との乖離が見られる。教師の意識を児童生徒の学びに向かう意識へつなぐための方策を考える必要がある。
- ・課題としては、「授業に関すること」で、「小 No.8：将来つきたい仕事や夢について考えさせる指導をしたか」（5.3%）「小 No.29：授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思う」（10.5%）の割合の低さが挙げられる。児童とともに夢や希望を語り、児童が主体的に学習に取り組む授業を構築することは、求められる資質・能力を育成する上で欠かせない。授業改善をする中で念頭に置き、具体的な方策を講じたい。
- ・「小中 No.41：総合的な学習の時間で探究の過程を意識した指導をした」と回答した割合は、（小 21.1%・中 25.0%）で、前回の佐伯市の数値・全国値ともに大きく下回った。コロナ禍であっても、探究の過程を意識し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することは重要である。各学校において、指導方法や指導内容の工夫改善を図っていく必要がある。
- ・「小中 No.45：児童生徒の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童生徒の学習改善に生かすことができた」と回答する学校は、小・中ともに多く、全国値を大きく上回った。今後も、児童生徒とともに創る授業を推進し、「主体的・対話的で深い学び」を保障していきたい。

今後の取組について

<佐伯市内小・中学校の現状・課題>

- (1) 基礎学力の定着と活用問題（課題）への対応
- (2) 読解力、表現力（話す・書く→説明する）の向上



<現状・課題をふまえた重点的取組>「佐伯市学力向上」プランから

◇定着・習熟の取組

- (1) 問題データベース・タブレットドリルの有効活用
 - ・「各種学力調査を生かした学力向上対策について<東京書籍問題データベースの活用>」を参考に
- (2) 各種学力調査（全国調査・県調査・市調査）問題の有効活用
 - ・授業の内容に即して活用問題・練習問題として出題し解説
 - ・「調査問題活用の参考資料」（国立教育政策研究所）等を参考に
- (3) N I Eの実施
 - ・新聞社のワークシート等を活用した取組

どこでどのように取り組むのかを明確にし、計画的・継続的な取組を行う。

◇授業力向上の取組（新大分スタンダードに基づく授業改善を進める中で）

- (1) 付けたい資質・能力、評価規準を明確した授業の実施
 - ・授業を実施する前提として、授業者が付けたい資質・能力、評価規準を意識
- (2) 「情報の取り出し」を意識した授業の実施
 - ・（例）「わかっていること・たずねられていること」に線を引く。（算数）
 - ・（例）音読をする際に目的をもたせる。（国語）
 - ・（例）視点を明確にした上で、線を引きながら文章を読ませる。（国語）
- (3) 必然性をもったペア・グループ活動の実施
 - ・表現する場面の設定と児童生徒の姿の想定
 - ・個（考えをもち交流に向かう）
→ペア・グループ（考えを交流する）
→個（考えを再構成する）

校内研修において(1)～(3)を共通理解し、日常の授業において具現化する。（授業観察の視点に組み入れる）

※「定着・習熟の取組」「授業力向上の取組」については、積極的に研究指定校の実践研究に学ぶこと（授業参観、研修参加、VTR視聴等）

※「授業力向上の取組」については、若手教員育成の観点から授業力向上アドバイザーを計画的に活用すること。